

議事概要録

件名	第3回 新得町観光振興ビジョン検討会議																																			
日時	平成29年9月13日(水) 18:00~20:05																																			
場所	新得町役場第3会議室																																			
出席者	・検討会議委員 (五十音順、敬称略) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">委員名</th> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 20%;">出欠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新得ハイヤー有限会社</td> <td>石畑 政俊</td> <td>出席</td> </tr> <tr> <td>みなとや</td> <td>今井 崇敬</td> <td>出席</td> </tr> <tr> <td>新得町商工会</td> <td>岩宮 佳佑</td> <td>出席</td> </tr> <tr> <td>一般公募</td> <td>加藤 博</td> <td>出席</td> </tr> <tr> <td>宮城屋</td> <td>金沢 陽子</td> <td>欠席</td> </tr> <tr> <td>株式会社マルサ 齊藤商店</td> <td>齊藤 武</td> <td>出席</td> </tr> <tr> <td>共働学舎新得農場</td> <td>高橋 英夫</td> <td>出席</td> </tr> <tr> <td>TACとかちアドベンチャークラブ</td> <td>野村 竜介</td> <td>出席</td> </tr> <tr> <td>新得町観光協会</td> <td>藤森 宗智</td> <td>出席</td> </tr> <tr> <td>新得神社氏子会</td> <td>古川 盛</td> <td>欠席</td> </tr> </tbody> </table>			委員名		出欠	新得ハイヤー有限会社	石畑 政俊	出席	みなとや	今井 崇敬	出席	新得町商工会	岩宮 佳佑	出席	一般公募	加藤 博	出席	宮城屋	金沢 陽子	欠席	株式会社マルサ 齊藤商店	齊藤 武	出席	共働学舎新得農場	高橋 英夫	出席	TACとかちアドベンチャークラブ	野村 竜介	出席	新得町観光協会	藤森 宗智	出席	新得神社氏子会	古川 盛	欠席
委員名		出欠																																		
新得ハイヤー有限会社	石畑 政俊	出席																																		
みなとや	今井 崇敬	出席																																		
新得町商工会	岩宮 佳佑	出席																																		
一般公募	加藤 博	出席																																		
宮城屋	金沢 陽子	欠席																																		
株式会社マルサ 齊藤商店	齊藤 武	出席																																		
共働学舎新得農場	高橋 英夫	出席																																		
TACとかちアドベンチャークラブ	野村 竜介	出席																																		
新得町観光協会	藤森 宗智	出席																																		
新得神社氏子会	古川 盛	欠席																																		
	(19:15 途中退出)																																			
	・事務局 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tbody> <tr> <td style="width: 60%;">産業課長</td> <td>石塚 将照</td> </tr> <tr> <td>産業課課長補佐</td> <td>佐々木 隼人</td> </tr> <tr> <td>産業課観光計画係長</td> <td>金澤 直樹</td> </tr> <tr> <td>産業課観光計画係</td> <td>村瀬 祐樹</td> </tr> </tbody> </table>			産業課長	石塚 将照	産業課課長補佐	佐々木 隼人	産業課観光計画係長	金澤 直樹	産業課観光計画係	村瀬 祐樹																									
産業課長	石塚 将照																																			
産業課課長補佐	佐々木 隼人																																			
産業課観光計画係長	金澤 直樹																																			
産業課観光計画係	村瀬 祐樹																																			
資料	資料1：前回までの議論の整理 資料2：新得町観光振興ビジョン(仮称)【素案】																																			

議事内容

1 開会・挨拶

- ・進行：産業課佐々木補佐
- ・石畑委員長から挨拶

【石畑委員長】

- ・今回はより具体的な意見をいただければと思う。よろしくお願ひしたい。

2 議事

- ・進行を石畑委員長に交代
- ・議事に入る前に、今井委員から要望のあったニセコ町観光の現状について事務局から説明

【事務局 新得町産業課観光計画係 金澤係長】

- ・ニセコ町の人口は先月(8月)末で4,954人であり、新得町より約1,200人程度少ない。
- ・昨年度の観光入込客数は1,778,800人であり、新得町より82万人ほど多い。道内客が主となっている新得町と比べ、道外客の多さが際立っている。

- ・ニセコ町の観光協会は、ニセコ町と町民が50%ずつ出資して平成15年9月1日に設立の、全国で初めて株式会社化した「株式会社ニセコリゾート観光協会」というところ。平成12年から独立の検討を始め、当初は社団法人で考えていたところ、平成14年に株式会社化を決定し、その後約9ヶ月で株式会社化を実現した。
- ・「ニセコ町観光振興計画書」で、受入体制が整っていない、連携が確保できていない、魅力が十分伝えられていないことを課題としているのは、新得町とも共通する部分。基本戦略として9つ項目をあげており、それぞれの項目の下に具体の事業がある形。
- ・ニセコ町へのアクセスについて、車では札幌市及び新千歳空港から約2時間、鉄道では新千歳空港から約3時間半。鉄道では札幌、小樽経由になり、小樽からの直通は1日3～4本しかない。ただ、倶知安で乗り換えることもできるし、夏には特急ニセコ号という臨時列車を走らせたりしている。
- ・空港からはバスが便利で、夏冬のシーズンは直行バスがあり、特に冬は本数が多い。
- ・ニセコ町、倶知安町、蘭越町がニセコ観光圏で、いわゆる「ニセコエリア」。ヒラフ地区がある倶知安町の方が観光客は多いのが現状で、ニセコ町は町外からの民間投資が多く得られている一方、民間消費や調達を町外に頼っており、所得も相対的に低く、ニセコ町は観光によって稼げていないという整理もある。
- ・観光でうまくいっている印象があるニセコ町でも稼げているわけではなく、新得町においても観光で稼ぐことをメインの目標にするのは困難であるので、ビジョンでは「観光地域づくり」をメインの方針として掲げている。

《委員発言》

【今井委員】

- ・（新千歳）空港からニセコへはどのくらい時間がかかるのか。
→（バスで）3時間くらい。

【石畑委員長】

- ・1口5万円とあるが、どのくらいの金額が集まったのか。
→町が1,000万円、町民が1,000万円の合計2,000万円でスタートした。

【齊藤委員】

- ・個人投資家もたくさんいて、投資規模が新得とは全然違う。今新得では関西人等が移住してきている。夏に新得に来て、冬に関西に戻る人たちも増えている。そういう人たちが新得にもっとお金を落としてくれれば。
- ・今年は北海道が高温だったので新得町に合宿が来ていない。合宿でも新得を広めていくことが重要。

【石塚課長】

- ・現在ランニングコースが使えないので、積極的な誘致はしていない。

(1) 前回までの議論の整理 (資料1)

- ・事務局から説明

【事務局 金澤】

- ・第1回、第2回の会議で出た意見等について、ビジョンの素案の中でどのように反映しているかを整理した。複数の意見をまとめたり、単純化したりしているのですが、発言内容そのままではなく、また、漏れている意見もあるかもしれないが、ご容赦いただきたい。
- ・いただいた意見について、基本的には右の「対応」の欄にあるとおり、35ページからの個別施策（事業）のところで反映しているが、何点か特に説明する。
- ・2の「観光客が欲しい情報を伝えられていない」という点について、30ページの方向性の柱(2)観光産業の活性化で「④観光関連情報の情報発信能力の強化」と記載し、37ページの個別事業の④で、「景観や食を中心とした観光素材の情報発信」としてホームページの充実を掲げるなど、具体的な事業を記載している。観光情報の提供についての課題は、これまでの議論の中でも頻繁に発言があったので、ここに記載している以外にも他に何かやったほうが良いことがあれば、御意見をいただきたい。
- ・5の「狩勝高原園地再整備」について、35ページの個別事業の(1)で「狩勝高原園地再整備」を記載し、40ページの個別施策（事業）Pick Upでも取りあげている。本年8月に町民向けの説明会を開催し、現在パブリックコメントの実施中で、町民の意見を聞いているところ。
- ・10、11は前回金沢委員からプレゼンをいただいた駅前イルミネーションの拡大やSLを走らせるといった意見で、熱い想いを語っていただいたが、対応欄に記載しているとおり、イルミネーションの市街地への拡大や商店街のシャッターのペイントなどは、関係先の合意など一定の意思統一が必要であることから、現段階でビジョンの中で「実施する」と明言することはできないが、35ページ(4)「JR新得駅前の花壇整備及びイルミネーション設置の継続」の中で、工夫しながら継続していくこととしている。また、SLを走らせるには多額の費用がかかるため、こちらもビジョンの中で「実施する」と明言することはできないが、個別施策の「産業遺産を活用した観光振興（産業観光）」で「旧狩勝線の魅力PR」を記載している。旧狩勝線は重要な観光資源であるので、狩勝高原園地再整備と併せてその有効利用について検討する。
- ・12の計画期間について、35ページからの個別施策（事業）で、項目ごとに短期・中期・長期の分けを記載している。ただし、この記載は実施時期又は実現時期で記載しており、例えば狩勝高原園地再整備や道の駅の整備などは、工事や要望は来年度も行うが、実現には時間がかかるということで、実施時期で書くなら「短期」だが、実現時期で「長期」と記載している。

《委員発言》

【今井委員】

- ・前回の議論でSLは難しいという話だったが、他の可能性がなかったか。

【加藤委員】

- ・ポッポの道は馬が歩きやすいように整備されているので、馬そりとか馬車は走りやすい。

【石塚課長】

- ・鉄道の話はまだ線路が残っていた30年前に役場職員で検討している。鉄道会社でないと鉄道は走らせられないから、難しかった。

【加藤委員】

- ・今はサイクリングロードになっているが、地面がやわらかいので走りにくい。

【石畑委員長】

- ・ポッポの道を整備したのは10数年前になるが、もともと馬を走らせられるようにしたいということで整備していた。そういう経緯があり、馬を走らせることができるので、もう少し観光に活用できないか。

【高橋委員】

- ・うち（共働学舎）にも馬がおり、新得町には馬が結構いる。新得のいろんなところで馬に会えるというのは面白い。

【加藤委員】

- ・ポッポの道ではスキー場のところからロッキー（ラーメン店）までは緑のトンネルになっており、ちょっと整備したら最高の散歩コースになる。

【高橋委員】

- ・（ポッポの道の途中の）そばの館やヴィレッジ432のあたりにも熊が出るっていうから、それが怖い。

【加藤委員】

- ・ポッポの道を観光化すればその周辺のお店にも集客できるだろうから、うまく連携してやれば。

【齊藤委員】

- ・観光の目玉としてまず何か一つ成功させないと人は集まってこない。狩勝高原から新得の町中まで幌馬車を1日3往復位させれば。走っていれば熊も寄ってこない。どこが運営するかということだが、まずは馬を所有しているところがやってもらえれば。

【石畑委員長】

- ・馬の管理が大変。シーズンオフも飼育する必要があるから。
- ・この間（テレビ番組の）ヒルナンデスが来て、ウエスタンビレッジサホロに来て乗馬していったが、その2～3日後に大阪からテレビを見て来た人がいた。メディアで取りあげられるというインパクトがあればすぐに食いついてもらえる。

【高橋委員】

- ・「はじめてのおつかい」を見た人に、「あそこに出てたお肉屋さんにはどうやっていくんですか？」と聞かれた。

【齊藤委員】

- ・新得町が取りあげられたのはラッキーだった。メディアの影響は大きい。

【加藤委員】

- ・トレイルラン（旧狩勝線を利用したマラソン大会）も年々参加者が増えているんでしょう。

【藤森委員】

- ・今年は美瑛のトレイルランと日程が重なったので減ったが、基本的に年々増えている。

【石畑委員長】

- ・駅前から馬を出したいという気持ちがある。駅前に馬が駐まっているというのがいい。

【石塚課長】

- ・馬は軽車両扱いだから、信号を守れば大丈夫。

【高橋委員】

- ・毎日は無理でも週末だけでも。

【加藤委員】

- ・（夏季と冬季に期間限定で走らせている無料の）循環バスより人気になる上、料金も取れる。

【齊藤委員】

- ・続けなければいずれプラスになる。

【高橋委員】

- ・うち（共働学舎）もたまに祝日とかに簡単に2分くらいの引き馬をやるが、町民が結構来る。

【今井委員】

- ・（駅前の）商工会の駐車場に馬は駐められないのか。今駅前開発を力入れてやっているんだし、それもありません。

【齊藤委員】

- ・まちに馬を走らせる、というのは皆さんの一致した意見では。駅前にも人が集まるだろうし。

（2）ビジョン（素案）の検討（資料2）

- ・まず第4章まで事務局から説明

【事務局 金澤】

- ・前回資料の「たたき台」から修正した箇所を中心に説明する。
- ・1ページの「はじめに」について、箇条書きだったものを文章化した。新得町の概要を説明した後、新得町が恵まれた環境にあること、それについて住民の意識が高くないこと、「いらっしやいしんとく」のロゴマークに込められた想いについて記載している。修正案等積極的に御意見をいただきたい。
- ・8ページの図表4について、数値の誤りが判明したため修正し、内容が変更になっている。入込客数に占める海外客の割合は新得町の方が北海道より圧倒的に大きいとしていたが、北海道の数値が誤っており、平成25年に逆転されていた。
- ・28ページに「SWOT分析」という観光の特徴を分析したものを追加した。観光関係でこの分析がよく用いられるため、ビジョンの本体にも追加した。
- ・29ページの「観光地域づくり」の定義に、「全体最適を目指し」という文言を追加した。定義をより明確化するため、全体の調和が重要という内容を追加したもの。「観光地域づくり」という言葉は様々な箇所で用いられているありきたりな言葉なので、このビジョンの独自性を出すのであれば何か他の言葉に置き換えることも考えられるので、もしいいアイデアがあればお願いしたい。
- ・30ページの方向性の柱（2）の観光産業の活性化の①～⑦の並び順を、関連項目が近くなるように変更した。

- ・方向性の柱（3）は「（1）（2）の実行の結果、（3）につなげる」としていたところ、具体的に項目立てすることにした。39 ページに個別事業も追加している。
- ・40 ページに「ピックアップ」の形で狩勝高原園地再整備を取りあげているが、これは個別施策のうちいくつかを具体的に説明するためのページ。今はまだイメージとして1つだけ記載しているが、他にいくつか取りあげたいと考えているので、何を取りあげるか案があれば御意見をいただきたい。

《委員発言》

【今井委員】

- ・SWOT分析とはどのようなものか。
→新得町の特徴を整理するために入れており、施策を考える上でのベースの一つ。ここに書いている以外にも考えられるものがあれば追加するので言っていただければ。

【加藤委員】

- ・新得町への観光客は冬が多いが、やはり一番の魅力はスキーか。

【野村副委員長】

- ・先シーズン、サホロのホテルさんと一緒にインバウンドの人たちを対象にスキーレッスン体験の受け入れを行ったが、わざわざ北海道に来てスキーをしたいという人たちなので、すごく無茶をする。わからなくてもとにかくやってみようとするので、それが危なくて僕らが頼まれる。来る人はアグレッシブな人が多い。自然をどうやって体験させるかというのは、実は課題。指南して体験させるツアーがあれば商品になる。

【今井委員】

- ・陸別のしばれフェスティバルは地元の人たちはやめたくてしょうがなかった。でも我慢して続けて今は海外からも観光客が来るようになった。そういう時代。みんな体験したことがないことを体験したい。勝手に発信してくれる。

【石畑委員長】

- ・鹿追で犬ぞり大会をやっているが、札幌に滞在している観光客で犬ぞりのためだけに鹿追に来る人もいる。仕掛けさえきちっとしていればお客さんは来る。

【今井委員】

- ・町民がふるさとを愛する気持ちをいかに表現するか、その雰囲気的大事だと思う。町民との連携も観光対策の一つの大きな柱。
→39 ページに「地域への誇りと愛着の醸成」について、個別施策を前回のたたき台から追加している。他に考えられることがあれば御意見を伺いたい。

-
- ・第5章について、事務局から説明。

【事務局 金澤】

- ・第5章は実施体制について、観光協会のあり方を中心に、行政、事業者、町民の役割を記載している。

- ・まず、観光協会と行政の役割整理について、インフラの整備や計画の策定などの基盤整備に当たる部分を行政が担当し、それをベースとして観光振興にかかる具体のソフト事業を行うのが観光協会であるとし、利益を求めて経済活動の視点を持つことも観光協会の特徴であるとしている。
- ・43 ページからはこの章のメインとなる「観光協会のあり方」について。前回の議論で観光協会は独立の方向で検討を進めることとしていたことから、具体案を記載している。
- ・現状として、現行の人員体制と実施事業について記載後、課題として、業務量や求められる成果に比べて人員が少ないこと、収入の大部分を町からの補助金に頼っており、事業実施に当たっての裁量が十分ではなく、新規事業や自主事業を実施できる余地が少ないこと、町との関係で役割分担が曖昧なことを記載し、本ビジョンの実現のためには現状の体制では不十分であるとしている。
- ・なお、「町との関係で役割分担が曖昧」というのは、観光とは関係の無い町民向けのイベントなどを観光協会が担当している場合があり、それにより業務量が増えている面もあることから記載しているもの。
- ・次に今後の体制について、国が推進している「日本版DMO」の考え方が参考となるとし、DMOの概要を記載している。その特徴として、法人格を取得していること、対外的に最終的な責任を負う者が明確化されていること、データの収集・分析等の専門人材が専従でいることなどがある。
- ・その上で、45 ページで、新得町観光協会においても組織をDMO化することが理想だが、専門人材やノウハウの不足、予算上の制約があるため、すぐに実現することは難しいので、可能な範囲でDMOの理念に沿って実施していくことと整理している。
- ・46 ページに観光協会の法人化について記載している。法人化の必要性について記載の後、法人の形態について、「一般社団法人」とすることとしている。一般社団法人とする理由は、活動内容が問われず、登記だけで設立が可能であり、収益事業を行うことに制限がなく、株式会社と違い持分がなく剰余金の分配を目的としないなど、観光協会の組織になじみやすいため。
- ・47 ページは組織体制を記載している。組織図を見てわかるとおり、大きく変更があるのは事務局の体制のみで、現在、専従職員は3人で役場職員が観光協会に併任の形で関わっているが、法人化後は事務局職員は全員専従職員とし、正職員、契約職員、パート等の別を問わず、必要数を増員する。また、主に新規事業を担当するため、観光戦略担当を設け、事務局長のもとに置くこととしている。
- ・この組織は仮案なので、こうした方がいい、という意見があればいただきたい。また、ビジョンに載せるのはあくまでも案であり、実際どうするかは、最終的には観光協会の総会で決定するもの。
- ・次に、スケジュールについて、前回の議論で「早いほうがいい」という意見もあったので、来年4月の定例の総会で法人化の方向性について説明し、検討に入ることについて承認をいただき、理事会において意見交換を開始、半年ほどの議論で、具体的な形の結論を得て、10月から法人化準備を開始、平成31年2月に設立総会、4月に法人化という流れで考えている。
- ・法人化による課題として、4点ほど整理しており、一つ目が運営資金で、自立した運営のため収益事業を拡大する必要があるとしている。中段に考えられる収益事業の例を挙げているが、他に考えられるものがあれば上げていただきたい。

- ・二つ目の課題が設立箇所、現状の役場内でいいのか、検討する必要がある。
- ・三つ目の課題は戦略の策定で、本ビジョンを具体化させるための詳しい戦略を策定する必要がある。
- ・四つ目はガバナンス、要は統治、観光協会を運営するに当たっての管理体制をきっちり構築しなければならないということ。
- ・これらの課題は、法人化に向けた観光協会内での具体の議論の中で検討していくべきもの。
- ・以上が、観光協会の独立についてで、すべてのことが観光協会の独立と同時に実現することは難しいと思われるので、できるところからやっていく形になる。
- ・観光協会のあり方について、結論にいたるまでにDMOの話や法人の形態をどうするかなど結構な分量で説明しているが、シンプルに結論だけ記載するという方法もあるので、そちらの方がよければそうする。
- ・最後に49ページの「町民・事業者の役割」について、町民はまず新得町のことを知り、観光についての理解を深め、おもてなしの心を持って観光客を迎えること。それから、町民自らが観光の情報を外に発信することを役割として記載している。
- ・事業者の役割は、観光を意識した経営が観光地域づくりに繋がることを認識し、事業者間の交流を深めて連携し、観光協会の事業にも積極的に関わることとしている。
- ・ここについては、反発も予想されることから、あまり踏み込んだ記載ができていない。委員の皆様は町民であり、事業者の方もいるので、その役割についてどういうことが必要なのか、御意見をいただきたい。

(19:15 高橋委員退出)

《委員発言》

【石畑委員長】

- ・収益事業について、体験もののコーディネートとかで手数料を取るというのが今は多い。町内でも「やりたい」という声は聞く。企画さえしっかりしていれば収益になる。
- ・ふるさと納税の手数料率をアップするというのはどのような感じか。

【藤森委員】

- ・(役場財政との) 交渉次第。

【石塚課長】

- ・独立して業務を受託するのであれば、人件費分も請求できる。町としてもその業務に携わっていた職員を他の業務に回すことができる。

【石畑委員長】

- ・観光戦略担当の役割が重要になってくる。スペシャリストの方にやってもらえれば独立の道も近づく。

【今井委員】

- ・観光協会の独立ということは、毎年焼き直しでやってきたことを、営業努力によってもっと強力に進めるという期待がこもっている。現観光協会のメンバーには一歩踏み出していくんだという気持ちで、言いにくいこともあるかもしれないが、具体的なことを言ってもらわないと現実化しない。

- ・町内のお祭りなどのイベントもそれぞれどこが主体でやっているのかを頭に入れて整理して考えていかなければいけない。

【石畑委員長】

- ・今まで観光協会がやっていた仕事を精査して、本来の観光協会の仕事に特化することが大事だと考えられるので、そこは英断で踏み出さないと。

【今井委員】

- ・会長もそれらしい人が代々就いているが、(独立した観光協会に)期待されているのはそういうことではない。

【齊藤委員】

- ・法人化するということは、社長が先頭に立たなければならないということになるかもしれない。そのくらいじゃないと、下を引っ張っていけない。
- ・決算書を見ないと判断材料がないので、なかなか意見が言えない。

【藤森委員】

- ・観光協会を一般社団法人としてやっているところで、市町村の補助金なしでやっていけているところはほとんどないのではないか。

【石塚課長】

- ・いかに町の補助金を減らすかということ。今はほぼ100%。

【加藤委員】

- ・収益事業をすることで、現時点で年間どのくらい収入があるのか。

【藤森委員】

- ・今はほぼレンタカーとふるさと納税の手数料のみ。レンタカーも夏場だけ。
- ・法人化すれば自分で稼がないと成り立たないので、意識も変わると思う。

【石畑委員長】

- ・町民や事業者の役割についてはどうか。

【今井委員】

- ・町民の意識を変えるのが一番難しい。

【石畑委員長】

- ・知らず知らずのうちにおもてなしをしているとか、観光のアクションをしているとか、いい雰囲気蔓延するといいいのかな、と。

【今井委員】

- ・民泊はどう進めていけばいいか。海外の人が来るとすごく反応がある。おじいちゃんおばあちゃんも興味はある。受け入れ先があったらその近所の町内会の人と交流するということから心が開いていくという場合もある。

【石畑委員長】

- ・関西の学生が修学旅行で来て農家に泊まるということは行われている。新得でも行われている。(農村ホームステイ)

【今井委員】

- ・あれだけつながりができるのだから、まちなかでもうまく場所を利用してできれば。

【石畑委員長】

- ・農家で働くのと同じ感覚で、販売体験とかそば打ち体験とか可能。

【今井委員】

- ・新得の人は奥ゆかしいというのか、お金を持っていても出さない。(隣の)清水町とも気質が違う。(同じ町内の)新得と屈足でも違う。屈足の方がフロンティア魂があるというのか、新得に負けるなというライバル心があるのか、そういう気風を持っている。
- ・ウェルカムの気持ちを持っていない人の考えを変えるのは至難の業。
- ・景観条例は新得にはないか。何かの色を統一するとか。

【石塚課長】

- ・町民も色々な意見があるから大変。歴史ある町の方がやりやすいかもしれない。
-

(3) 意見交換

【石畑委員長】

- ・何か他に意見等はあるか。

【加藤委員】

- ・8月20日に狩勝高原園地再整備の説明会に参加した。計画に反対ではないが少し見直しが必要。植栽に関心があり、普通の気象条件と違うので難しい部分もあるが、高山植物の試験植栽を見て寂しい思いをした。見直すべきところは見直した方がいい。皆さんにも現地に行って見ていただいて、提案いただければ。
- ・外来の植物を植えてもいいが、他にもう素晴らしいところがあるから、新得ならではの特徴を出した園地にしたい。

【佐々木課長補佐】

- ・まずミニSLを走らせる有料ゾーンをつくらないと集客がない。そこさえ造ってしまえば、後は計画はあるがその時代に合ったものなど、その時々で植えるものを変えることも可能。
 - ・金額ばかり一人歩きしてしまっている。
-

(4) 次回開催

【石畑委員長】

- ・次回の会議について。

【事務局】

- ・次回会議はスケジュール案のとおり11月中の開催を目指しており、10月中までにこれまでと同様に日程調整をする。今回は一番多くの方が出席できる日程で調整したが、今回は今回出席できなかった方が出席できる日程を優先して考えたいと思うのでご了承いただきたい。
- ・今回はビジョンの案を決定するので、今回の素案について、細かい部分でも結構なので、読み込んで考えをまとめておいていただければ。

3 閉会

【石畑委員長】

- ・これをもって「第3回新得町観光振興ビジョン検討会議」を閉会する。

以上